



村が学校

教育長 津野庄一郎

関川村学校運営協議会主催（会長：鈴木紀夫さん）の「村内巡り（ブラセキⅡ）」が、8月27日、関川小中学校の教職員を対象に行われ、総勢27名が参加しました。この企画は関川村に勤める先生方に、地域のよさや特色を理解し、見聞を広めてもらうために行っているもので、今年は、株式会社SHK（六本杉：須貝圭介社長）、登録有形文化財平田家（小見：平田大六当主）、関川る～む（大島：近美千代代表）の3か所をバスで巡りました。ちなみに去年は、登録有形文化財松坂家（小和田）、弘長寺壁画（蛇喰）、古民家カフェ元麴屋（朴坂）、関川農事株式会社（深沢：赤塚友美さん）の女川方面でした。

本県でも屈指のしいたけ産地のSHKでは、全国的にも珍しい「24時間365日制御」のハウスの中で、安全安心で抜群の品質を誇る「あらかわしいたけ」の栽培の様子を見学しました。1年を通じて20度の室温や、特に大きいものは各地ゴルフ大会等の景品にも提供しているなどのお話には驚きました。



平田家では、登録有形文化財の酒蔵をはじめ伝統的な日本建築の主屋を見学したり、奥座敷で高校時代に自作した麻雀牌まーじゃんぱいや代々伝わる名刀「守家」もりいえを見せていただいたりしました。大六さんの変わらない学び続けるお姿や奥様ともども心のこもったおもてなしに敬服いたしました。



令和6年に旧大島保育園にオープンした関川る～むは、身近な地域の子どもの居場所や、明誠高等学校通信制課程のサポート校「令和関谷学園」の学び場として、様々な活動を行っていることをプレイる～むやスタジオ、学習室等の見学を通じて理解を深めました。また、る～むカフェのコーヒーも美味しくいただきました。まさに「百聞は一見にしかず」です。

<【写真】上：名刀を解説する大六氏、中：SHKのハウス内、下：挨拶する近代表（奥）関川る～む>